

岐聖大と松波総合病院

看護師養成で 連携協定締結

岐阜聖徳学園大を運営する学校法人聖徳学園(岐阜市柳津町高桑)は28日、松波総合病院を運営する社会医療法人蘇西厚生会(羽島郡笠松町田代)と人材育成を目的とした連携協定を結んだ。

同大は4月に看護学部を新設しており、両者が地域で活躍できる看護師の養成を狙って

連携に至った。人材交流などを行い、同病院には学生の臨床実習を受け入れてもらう。

この日、同大羽島キャンパスで調印。聖徳学園の杉山元彦理事長は「教育力の一層の向上や地域社会との連携強化につながると確信している」、蘇西厚生会の松波英寿理事長は「地元の医療機関とし

協定書を交わした聖徳学園の杉山元彦理事長、蘇西厚生会の松波英寿理事長、岐阜聖徳学園大の藤井德行学長(左から)＝岐阜市柳津町高桑、同大羽島キャンパス



て密接に連携し、立派に育つ看護師の育成につなげた。(山田俊介)